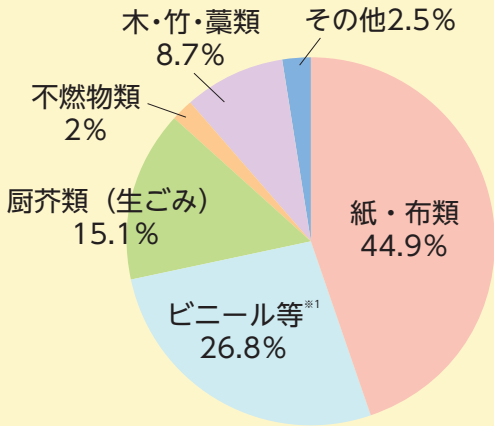


# 志摩市のごみと3R

## まずは、もやせるごみの分別から始めよう!



【可燃ごみ質試験結果】

(平成29年度～平成31年度の平均値)

### ごみ質の調査結果から見えること

紙・布類、生ごみ、ビニール等(プラスチック含む)で全体の86%以上を占めています。燃えるごみの中には資源として分別することで、ごみを減らすことができるものがたくさんあります。

※1「ビニール等」はビニール、合成樹脂、ゴム及び皮革類を示す。

**リデュース**  
Reduce

**リユース**  
Reuse

**リサイクル**  
Recycle

でごみを減らそう!

**まずは!**

**発生抑制**

**リデュース**

- 食べ物を作りすぎない。残さない。
- エコバックを持つ。



**できるだけ**

**再利用**

**リユース**



- 詰め替えを利用してごみを出さない。



- リサイクルショップなどを利用する。



**リサイクルするのに大切なこと!**

**① きちんと分別しましょう!**

再生原料となり生まれかわることから、種類の違うものが入っていると同一原料として利用できません。

**② きれいにして出しましょう!**

汚れたものが混ざっていると、きれいなものまで汚れたり、再生原料を使った製品が粗悪品になったりします。

**もう一度**

**原料に再生**

**リサイクル**

- 再生するためにルールを守って分別する。

3Rは、リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組んでください。



ごみとして出たものをリサイクルするだけではごみの減量になりません！  
 ごみを出さないためにはどうしたら良いか考え、行動することが、ごみを減量するために最も大切なことです。

**もやせるごみの3大要素【紙類・プラスチック・生ごみ】を減らそう！**

**紙類の減量**

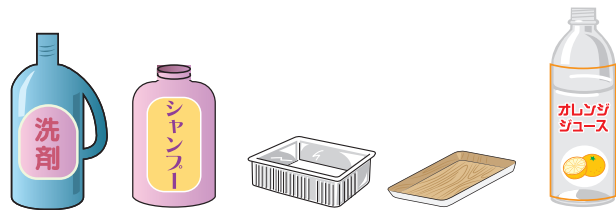
雑がみは透明または半透明のごみ袋に入れて出して下さい。



**プラスチックの減量**



このマークで判断して、マークがあれば燃えるごみには出さないでください。資源物としてリサイクルできます。



**生ごみの減量**

**生ごみにならない工夫【3ないで減量】**

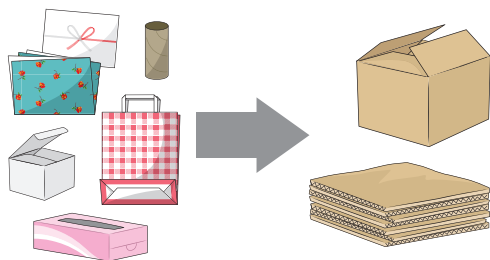
買いすぎ **ない** 作りすぎ **ない** 食べ残さ **ない**



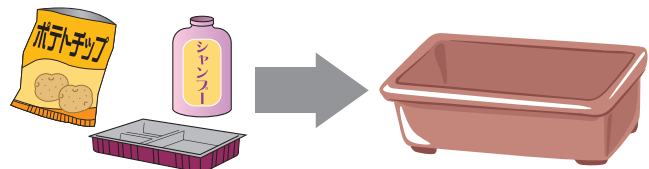
**捨てる前にひとしぼり！**

生ごみの約80%は水分です。水切りで生ごみが軽くなり減量されます。

**資源はこのように生まれ変わります！**



ティッシュやお菓子の紙箱などの「雑がみ」は、紙箱や段ボールなどに生まれ変わります。



コンビニ弁当などの容器や洗剤・シャンプーなどのボトルといった「プラスチック製容器包装」は、プランターや駐車場の車止め、パレット(荷物を載せるための荷役台)などに生まれ変わります。